

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2014～2015年度 国際ロータリー ゲイリー C.K. ホァン 会長テーマ

Light Up Rotary ロータリーに輝きを

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦 芳一
幹事 伊藤 節夫
会報委員長 關 淳之

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2860回例会プログラム

[当年度=11回目；当月=1週目]

2014年（平成26年）10月6日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 黙 禱
5. 国歌斉唱
6. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
7. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
8. 食 事
- 12:45 9. 会長挨拶並びに会長報告
10. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
11. 幹事報告
12. 出席報告
13. 委員会報告
14. ニコニコボックス報告
15. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(10/13) ……休 会 (法定休日)
(10/20) ……職場例会 (職業奉仕委員会)
12:30～刈谷豊田総合病院5階研修室
- 13:00 16. 本日のプログラム
地区出向者アワー
杉浦 文雄 会員 (地区社会奉仕委員会)
吉原 孝彦 会員 (地区ロータリー財団委員会)
(地区東日本大震災プロジェクト委員会)
17. 謝 辞
18. 点 鐘……………〈会長〉
19. 閉会宣言
- 13:30 20. 散 会

出 席

会員総数 93名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 70名
欠 席 6名 出席率 91.43%
前々回 (9/22) の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) RI より昨年の新入会員を推薦された加藤英二会員、桂木正樹会員に認証品のバッジが届いています。



幹 事 報 告

- 1) 市川裕士会員がご逝去されましたので現在の会員数は93名になります。
2) ワールドフードフェスタのチケットが届きました。メールボックスにチケットを入れておきました。
3) 10月17日小垣江小学校で訪問コンサートを11:00から行います。時間のとれる方は是非ご参加下さい。

会長あいさつ

杉浦 芳一



高知城・徳島城あるいは瀬戸内海よりも西国外様大名は陸路で東へ攻めてくる可能性が高く、山陽道・山陰道・その真中と幾通りも東進する街道はあります。

津山城は、岡山と鳥取を結ぶその真中あたりに位置しております。

本能寺の変で死んでしまった森蘭丸・坊丸・力丸兄弟の一番下の弟千丸が初代藩主で、森家が4代、その後は松平家が明治まで9代続きました。

立派な石垣は残っていますが、建物は2005年に復元された備中櫓、奥御殿として畳敷きで生活できる全国的に類例の余りない御座之間・御茶席・トイレを備えておりました。

傘寿のお祝い



内藤 耕造 会員

お祝い

10月の会員の誕生日…坂茂、太田保、野村重彦、堀正剛、内藤耕造、大音祖瑛、深谷稔彦、加藤恒治、塚本幸夫、室殿豊、松井秀仁、新海伸二、山下雅則、佐々木裕明会員。

配偶者の誕生日…羽田孝子（育哉）、加藤多津枝（哲也）、豊田育美（浩正）、下谷裕子（敏朗）、出口うつみ（達也）、加藤未友紀（大志朗）、佐々木富美（裕明）様。

結婚記念日…坂茂、太田保、大音祖瑛、堀正剛、盛田豊一、前田孝司、杉浦世志朗、小野雄司、太田宗一郎、加藤真治、酒部正博、兵藤文男、横山宜幸、加藤英樹、深谷嘉英、深谷稔彦、鬼頭一浩会員。

10月度入会記念日…大竹憲治、吉原孝彦会員。

地区出向者アワー

地区社会奉仕委員会

副委員長 杉浦 文雄 会員



当地区の環境保全に関する活動は、長年に渡り諸先輩方々による環境保全委員会活動、また、地区内ロータリークラブに於ける環境に関する社会奉仕活動など種々様々な活発な活動がされております。

2014-15年度社会奉仕委員会の環境保全を担当させて頂く私としては、非常にプレッシャーの中、活動となります。

ここ数年は『生態系ネットワーク』『ESD ユネスコ世界会議』『流域環境圏』等々の問題について委員会内にて、勉強させて頂く機会にふれることもできました。しかしながら、細部に渡る知識の浅い私としては少しテーマを大きく戻し、「水をテーマとしたロータリー社会奉仕活動」とし、

- ① 地区内クラブに於いてどのような水がかかる環境、社会奉仕活動がされているかの情報収集
 - ② それに関しての愛知県やNPO、関連機関等とどのようなかわりがあるかを情報として整理してみる
 - ③ ロータリークラブ全体の中で水をテーマとした環境事業として、注目されるものがあるか探してみる
- 以上、3点を中心に委員会活動ができれば、そしてその情報を委員会内で協議し発信することができたらと考えます。

地区出向者アワー

東日本大震災プロジェクト委員会

副委員長 吉原 孝彦 会員

委員会の経緯

- ・2011年11月東日本大震災プロジェクトチーム会議開催（松前年度）
- ・2012～2013年度 委員会が発足（当初より3年間限定）

委員会の目的

・被災地区からの支援要請情報を収集し、各クラブに発信する。

情報入手先 2520地区復興支援特別委員会
2530地区 R 財団委員会

- ・2760地区内クラブの支援活動を収集し、データベース化する。
- ・クラブから支援活動の相談のあった場合、情報を提供し橋渡しをする。

2013～2014年度の活動

- ・支援要請情報及び、支援活動報告の収集・発信
- ・東南海沖地震における2760地区の初動体制の検討
- ・2013/4/9～10
女川町炊き出し支援、気仙沼市・石巻市・南三陸町・名取市等視察

気仙沼 RC との意見交換

- 2013/10/31 ~ 11/1
女川町炊き出し支援、石巻市・南三陸町・名取市等視察（ガバナー同行）
仙台南 RC にて当時の復興支援特別委員会委員長、副委員長と対談
- 尾張中央 RC からの依頼で仙台 RC からの事業を紹介（100,000円）

2014 ~ 2015年度の活動計画

- 東南海沖地震における2760地区の初動体制の検討し、ガバナーに答申する
- 名古屋栄 RC の協力を得て、11月17日に公開例会を実施する（地区補助金事業）
講師 気仙沼での被災者・当時の2520地区復興支援特別委員会の方
- 仙台 RC と共同で地区補助金事業「志津川中学校への時計塔寄贈」を行う。